

日本戦略研究フォーラム（J F S S）が主催している『keynote Chat 坂町』に参加した。講師は、佐藤勝巳氏（現代コリア研究所長、拉致被害者を救う会前会長、80歳）であり、「金正日政権の本質」と題して、極めて明快に小一時間話された。その内容を紹介したい。



1 金正日政権は何時潰れるのか？

結論的に言えば潰れない。内的要因:クーデターやテロが起きる可能性はない。外的にも、周辺国に潰そうとの意図はない。例え、金正日が病死したとしても変わらない。

2 金正日の病状は？

脳梗塞を患ったのは事実だろう。糖尿病もあるが、先般のクリントン訪朝時の映像を見ても健在振りが伺える。最も持っても一年位との米国筋の見方もある。

3 金正日が死亡したら、政権は崩壊するか？

崩壊しない。金正日への権力移譲に十分な時間を掛けて帝王学を教授した。3代目に対する帝王学は未実施、当面はいわゆる『お言葉政治』か(祖父、父はこう言ったと先代等に仮託して統率する。)。その間集団指導体制との見方をする者もいるが、それはない。共産主義社会は独裁者が居ないとまとまらない。朝鮮民族はその傾向大。国防委員会内部での権力闘争はあろう。

4 韓国は北朝鮮を潰したいのか？

NOである。現状が望ましい。2000 人万もの失業者を抱えたくない。

5 オバマ政権は金正日政権を潰したいのか？

米国の関心は北の核だけである。中国との関連での関心があるのみだ。

6 中国は金正日政権を倒したいのか？

その気は全くない。緩衝地帯としての北朝鮮の存在が重要
米国に手を突っ込まれたくない。

7 日本は金正日政権を倒したいのか？

NOなのだろう。正確には成り行き任せである。

8 日本の安全はどうして保障するのか？

北の核、ミサイルの脅威に極めて鈍感

ノドンに小型核爆弾が搭載されるのもカウントダウン状態である。北の核・ミサイル

の部品等は殆どが日本製である。これを止めれば無力化出来るはず。ハイテクも日本から総連の下部組織である科協(科学者協会)を通じて流出している。経産省も官邸も規制する気はない。法務省がその気になれば、好ましからぬ人物の再入国は拒否出来るはずだ。

日本が生殺与奪の権を握っていると言っても過言ではない。

北の弱体化政策として、

- ①送金停止は効果大である。在日朝鮮人も待ち望んでいた節がある。
- ②巡航ミサイルの保有が抑止効果が、あるのではないか
- ③アメリカに勝手なことをさせない為に、日本も対米カードを持つべきだ。その一つが核武装だ。

9 ビル・クリントン元大統領の訪朝について

個人の資格で訪朝した訳ではあるまいが、そう言わざるを得ない。北朝鮮にとっては国内向けに絶好の宣伝となった。

今回の女性記者2名の解放劇の実態はどうだったのか。実は本年6月中旬米第7艦隊が北朝鮮の貨物船江南号を包囲追跡して、終には何処の港にも入稿できず引き返さざるを得なかった。

今回も朝鮮半島周辺に第7艦隊を展開させて、そういう中で元大統領を送り込んで、北朝鮮が女性記者を解放せざるを得ないように仕向けたのである。(と考えた方が辻褄が合う。)まさに砲艦外交そのものである。人道的配慮では決してない。

翻って、日本は何も出来ないし、する気もないので、拉致被害者はどうなるのか。話し合いでとか人道的にと、そんな戯言で拉致された人達が帰ってくるなどと思うべきではなかろう。

外交は武力を直接には用いない戦争でもある。背景に軍事の力なくして外交は成り立たない。戦後の日本人はこの肝心なところを忘れてしまっている。

小生の偏見と独断の部分が多々あることをお断りします。

(了)